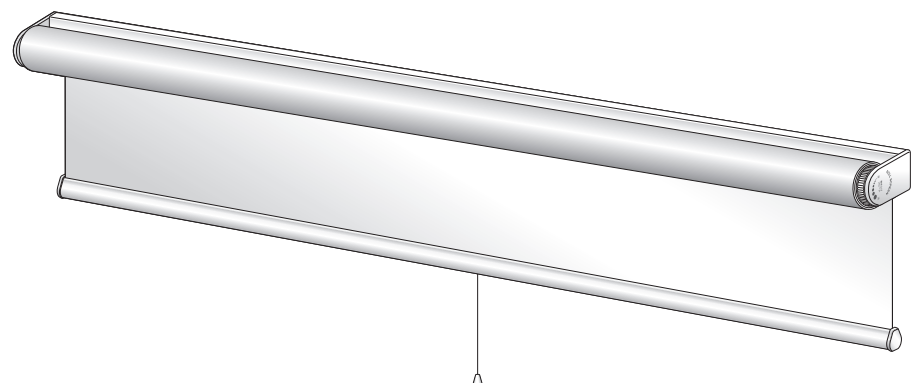


このたびは当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。この取付方法及び取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いくださいますようお願い致します。そのあと大切に保管し、わからないときは再読しご活用ください。

ロールスクリーン アルティス

取付方法及び取扱説明書



●はじめに
この製品を取り付ける前に、梱包されており部品等をご確認ください。万一不足している場合、もしくは不良品がございましたら、販売店又は発売元までご連絡ください。

●部品明細 ※部品箱の取り忘れにご注意ください。

部品名 / 姿図	幅サイズ(cm) / 入数			
ロールスクリーン本体	35~90	91~135	136~180	
部品箱はパッケージ上部に入っています。	ブラケット	2個	3個	4個
	木ネジ	2本	3本	4本
	カーテンレール取付金具	2個	3個	4個
	カーテンレール取付金具用ネジ	2本	3本	4本

⚠ 取付時の注意
※この製品は木ネジを使用して取り付けますので、**取付場所が木部(板厚10mm以上)**であることをご確認の上、正面付か天井付のどちらかで取り付けてください。また、カーテンレールにも取り付けられます。
※取付場所は、必ず水平であることをご確認の上、取り付けてください。
※石膏ボードへの取り付けは、落下する恐れがありますのでおやめください。
※取り付けに際しては付属部品(本体、ブラケット、木ネジ、取付金具、ネジ)等の取扱いは、ケガをしない様十分にお気を付けてください。なお、危険ですので、小さなお子様の手に触れない様ご注意ください。
※この製品の取り付けは、必ず**ブラケットが必要となりますので本体の分解・改造及び部品の改造は、絶対にしないでください。**

●必要工具
⊕ドライバー (ブラケット取り付け時使用) ハサミ (プルコード調整時使用)

●主な材質
ブラインドレール: アルミニウム / ボトムバー: PVC / ロールパイプ: アルミニウム

取付方法

※取り付けには、**ブラケットが必要**となります。本体の分解・改造は、絶対にしないでください。

●正面付で取り付ける場合

① **ブラケットを取付位置に付属の木ネジで固定してください。**
※説明図は幅91~135cm(正面付)を見本にしています。
幅: 35~90cmは両端(計2ヶ所)のみ、幅: 136~180cmは両端と内側2ヶ所(計4ヶ所)を等間隔に取り付けてください。

② **本体をブラケットにセットしてください。**
※左右の緩衝材は、本体をセット(固定)した後、必ず、操作する前に外してください。

③ **プルボールの位置と長さを調整してください。**

正面図、側面図、①、②の図解が示されています。

●天井付で取り付ける場合

① **ブラケットを付属の木ネジで取付位置に固定してください。**
※取付場所に**木部(板厚10mm以上)で水平である事**を必ず、確認してください。
●窓枠の内側に取付ける

② **本体をブラケットにセットしてください。**

③ **プルボールの位置と長さを調整してください。**

※ブラケットの取付位置及びプルボールの位置と長さの調整は「●正面付で取り付ける場合」の説明図を参照してください。

正面図、側面図の図解が示されています。

●カーテンレールに取り付ける場合

① **カーテンレールのキャップストップを外し、ランナーを抜き取ってください。**

② **付属のカーテンレール取付金具をカーテンレール取付金具用ネジでブラケットにセットした後、カーテンレールに送り込んで取付位置まで移動させ、固定してください。**

③ **本体をブラケットにセットしてください。**

④ **プルボールの位置と長さを調整してください。**

※ブラケットの取付位置及びプルボールの位置と長さの調整は「●正面付で取り付ける場合」の説明図を参照してください。

正面図、側面図の図解が示されています。

① 側面図: ブラケットを木部に固定する様子。プラスチックの突起部分を部屋側に向け、ドライバーで固定。

② 側面図: 本体をブラケットにセットし、パチンと音がするまで押し付けて固定。

③ 側面図: プルボールの位置と長さを調整する様子。

④ 側面図: 調整完了後の様子。

※左右の緩衝材は、本体をセット(固定)した後、必ず、操作する前に外してください。

① 側面図: キャップストップを外し、ランナーを抜き取る様子。

② 側面図: カーテンレール取付金具をブラケットにセットし、カーテンレールに送り込む様子。

③ 側面図: 本体をブラケットにセットし、パチンと音がするまで押し付けて固定。

④ 側面図: プルボールの位置と長さを調整する様子。

※左右の緩衝材は、本体をセット(固定)した後、必ず、操作する前に外してください。

※裏面もご覧ください。

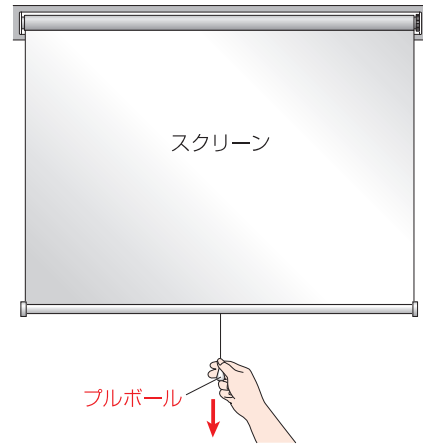
操作方法

操作する前に必ず確認してください。

下記5項目を確認した後、必ずプルボールを持って、ゆっくりと操作してください。

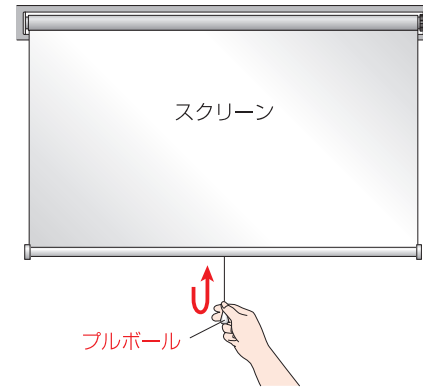
- 水平な取付場所(木部)に正しく取り付けられていますか?
- ブラケットが正しい位置に取り付けられていますか?
- 本体がブラケットに確実に固定されていますか?
- 左右の緩衝材は取り外されていますか?
- プルコードがボトムバーの中央の位置にありますか?

● 下降させた位置で停止させる場合



プルボールを持ってスクリーンをゆっくり下げ、目的位置で止めるとスクリーンは止まります。

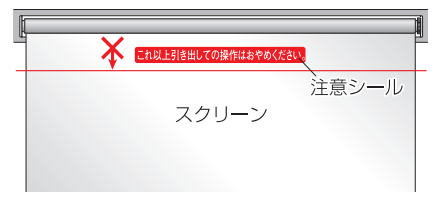
● 停止した位置から上昇させる場合



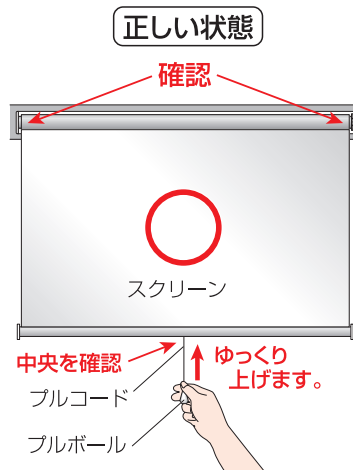
プルボールを持ったまま、スクリーンを少し下げてから手をゆるめる(上げる)とスクリーンは上昇します。
※上昇の途中で止める場合は停止位置で再度ゆっくり下げると止まります。

⚠ 注意

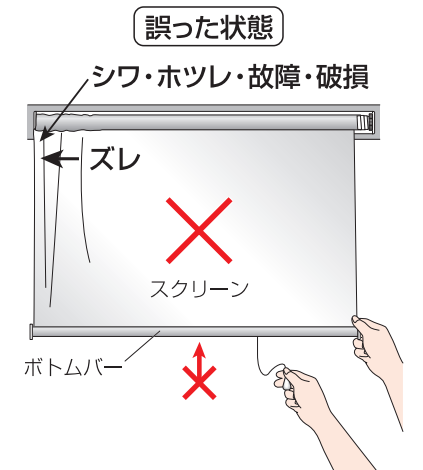
ロールスクリーンは、必ず表示サイズ内の高さでご利用ください。注意シール以上引き出して使用しますと故障の原因となります。また最後まで引き出し、上昇できない時は「最後まで引き出し、巻き上がらなくなった場合」(後述)を参照ください。



⚠ 操作上の注意



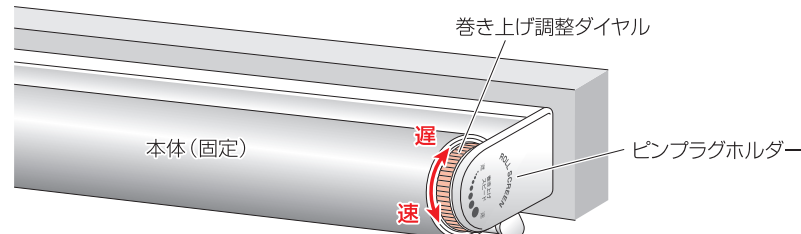
※取付場所が水平でない時やプルコードが中央にない状態又は、ボトムバーやスクリーンを持って操作しますとスクリーンを巻き上げた時、巻きズレが起こりスクリーンにシワやホツレが発生し、本体の故障、破損の原因になる恐れがあります。巻きズレが起きた時は、プルコードが中央にあることを確認した後、必ずプルボールを持ってスクリーンを下げ、ズレを直しながら、ゆっくりと上昇させてください。



巻き上げスピードの調整方法

スクリーンを巻き上げ、ロールパイプが回らない状態(左手で本体を持つ)にしてピンプラグホルダー側の巻き上げ調整ダイヤルを回して調整してください。

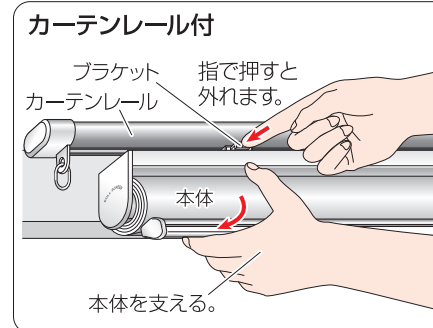
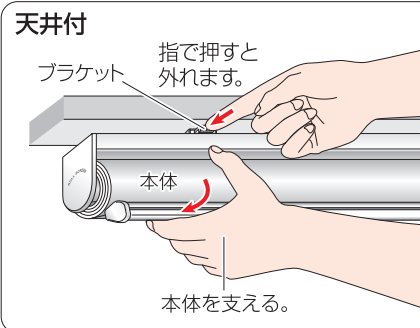
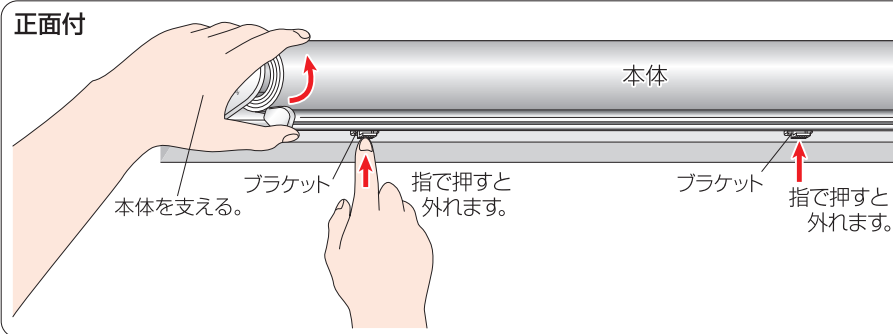
※巻き上げ調整ダイヤルを速側(巻き上げ方向)に回し過ぎると内蔵のパネが破損しますので半回転ごとにスクリーンの昇降状態を確認しながら行ってください。



スクリーンを巻き上げてから調整します。↑

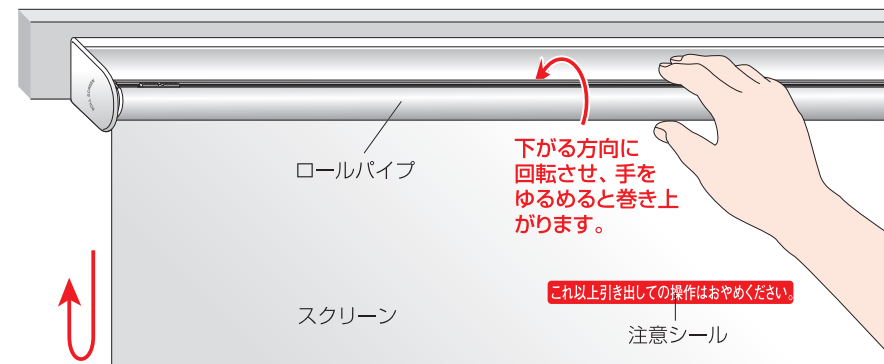
本体をブラケットから取り外す方法

落下しないよう片方の手で本体を支えながら、端から順に、本体を固定しているブラケットのプラスチックの突起部分を押し込んで本体を取り外してください。



⚠ 注意 本体をブラケットから外す時は、本体が落下しないように支えた手を離さないでください。ブラケットから外している途中で支えた手を離すと落下、破損の原因となります。本体の取付後は、取り外す時以外、ブラケットのプラスチックの突起部分に触れないでください。触れると本体が外れ、落下の原因となります。

最後まで引き出し、巻き上がらなくなった場合



⚠ 注意 ストップが解除されると急激に巻き上がり思わぬケガや事故の原因となりますので、ストップの解除が確認されたら必ず止めてプルボールを持って操作してください。

⚠ お手入れ方法の注意

- ※スクリーンは洗えません。スクリーンについたホコリは、はたきや乾いた布で軽く払ってください。水、漂白剤、液体洗剤等は使用しないでください。変質、変色やシミ、カビなど汚れの原因になります。
- ※スクリーンに殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。変質や変色の原因になります。
- ※ボトムバー、プルボールの汚れは中性洗剤液に浸し、軽く絞った布で拭き取った後、乾いた布でからぶきしてください。シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。変質や変色の原因になります。

⚠ 取り扱い上の注意

- ※ロールスクリーン本体及びボトムバーを強い力で引っ張ったり、ぶらさがったりすると変型したり、破損、落下の原因になります。危険ですでおやめください。
- ※スクリーンの近くでストーブ(暖房器具)などを使用しないでください。火災の原因となります。
- ※雨がスクリーンに直接かかる場所や湿気が多い場所での使用はしないでください。故障したり、変色、シミ、カビなど汚れの原因になります。
- ※スクリーンに風が強くとあたる時は、スクリーンを巻き上げておいてください。スクリーンがあおられて、置物などにあたり破損する恐れがありますので十分お気を付けください。

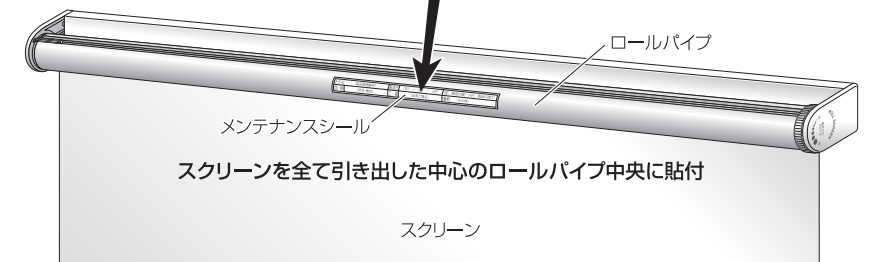
※このロールスクリーンはスクリーン(生地)の交換が可能です。色やタイプを変更したい場合などにご利用ください。ロールスクリーン(アルティス)専用スクリーンの購入につきましては販売店又は発売元にお問い合わせください。

スクリーン(生地)の交換には製品サイズ、カラーのご指定が必要になります。

ロールパイプに貼付されているメンテナンスシールをご確認ください。

オーダー 色・柄	(製品管理番号) (色名・柄名)	製造日 (年) / (月) / (日)	工場 (出荷工場名)	W: (製品の幅) × H: (製品の高さ) 備考: (その他)
-------------	---------------------	---------------------	------------	-------------------------------------

メンテナンスシール(見本)



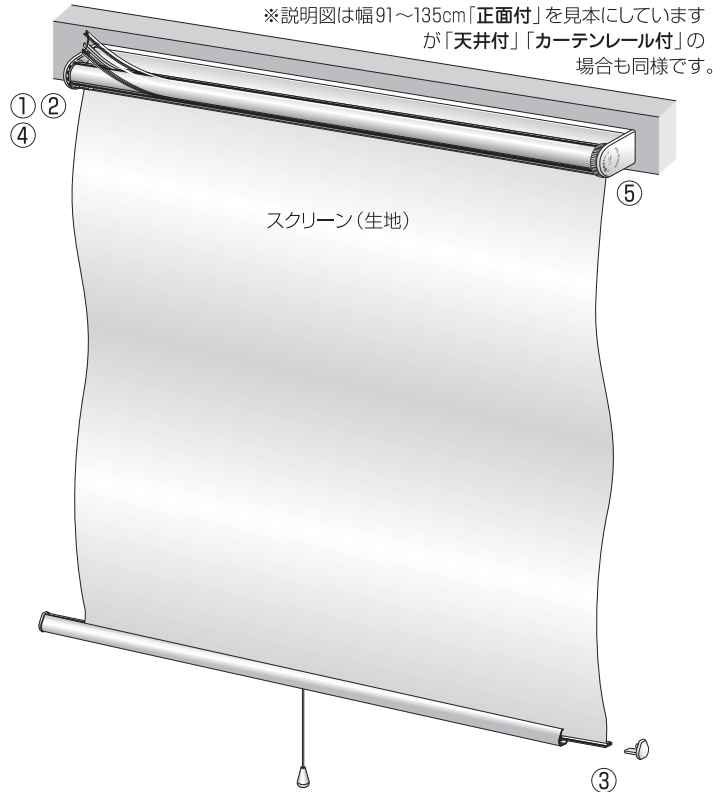
※スクリーン(生地)を交換する場合は、別紙の「スクリーン(生地)を交換する方法 ロールスクリーン(アルティス)取付方法及び取扱説明書」をご覧ください。正しくお取り扱いください。

※製品は改良の為、仕様を変更する場合がございます。ご了承ください。

日本製

発売元 株式会社 **フルネス**
〒362-0021 埼玉県上尾市原市 1170-1

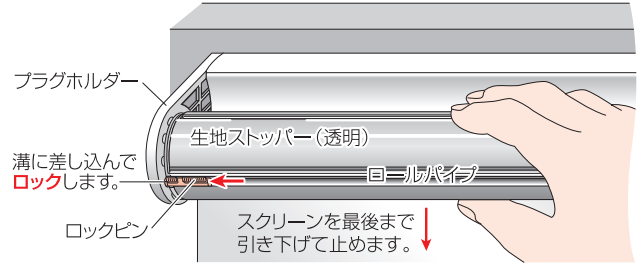
※ロールスクリーン(アルティス)の専用スクリーン(生地)の色やタイプを変更する場合がございます。なお、本体に付属されております「取付方法及び取扱説明書」も合わせてご覧になり、正しくお取り扱いいただきますようお願い致します。また、本書は大切に保管し、わからない時は再読しご活用ください。



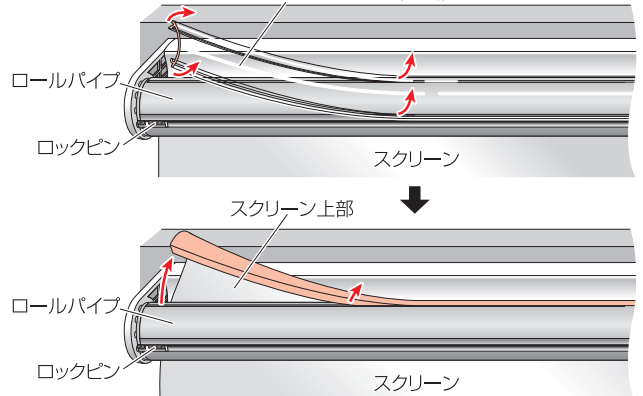
※ロールパイプが空回りしてスクリーンが巻き上がらなくなった場合は、スクリーンを一番下まで降ろした状態からピンプラグホルダー側の巻き上げ調整ダイヤルを巻き上げ方向(速側)に、幅35~59cm:約10回転、幅60~180cm:約25回転させてスクリーンを巻き上げた後、巻き上げスピードを調整してください。(「巻き上げスピードの調整方法」参照)

●スクリーンの外し方

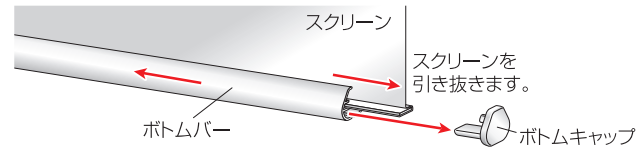
①スクリーンを最後まで引き下げて生地ストッパー(透明)を前面にして止め、プラグホルダー(左端)側のロールパイプの溝にはめ込まれたロックピンを左端に移動させてプラグホルダーの溝に差し込み、ロックしてください。



②ロールパイプから生地ストッパー(透明)を全て外した後、スクリーンを外してください。

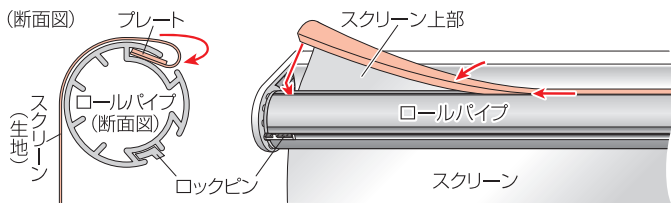


③スクリーン下部のボトムキャップを外し、ボトムバーからスクリーンを引き抜いてください。

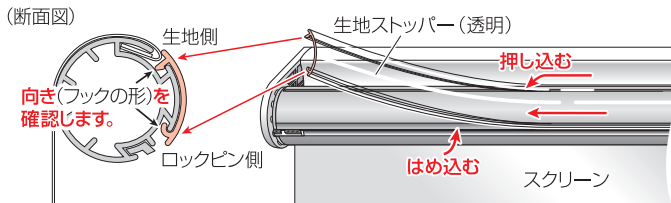


●スクリーンの取り付け方

①本体をブラケットから取り外し(「本体をブラケットから取り外す方法」参照)、スクリーン上部を内側から巻き込んでロールパイプの溝に差し込んでください。

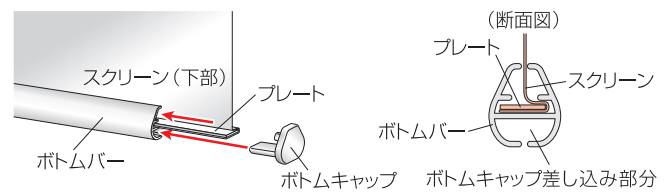


②生地ストッパーのフックの向きを確認し、先にロールパイプのロックピン側の溝部分にはめ込んだ後、スクリーン上部(生地側)を差し込んだ溝に押し込んでください。



※全体が確実にハマっている事を必ず確認してください。

③スクリーンの下部のホッチキス止めされたプレート部分を半周巻き込んでボトムバーに全て差し込んだ後、ボトムキャップを差し込んでください。



④本体をブラケットにセット(「取付方法」参照)した後、プラグホルダー(左端)のロールパイプのロックピンを右に移動させてロックを解除してください。



△注意 操作をする前にロックピンのロックが外れている事を必ず確認してください。ロックしたまま無理に操作をしますとプラグホルダーから外れて落下したり、本体破損の原因になります。

⑤「最後まで引き出し、巻き上がらなくなった場合」を参照してスクリーンを巻き上げた後、操作を確認してください。

※製品は改良の為、仕様を変更する場合がございます。ご了承願います。